太陽エネルギーデザイン研究会　（第13期）
総会・講演会

Solar Design Consortium

日時：2024年6月18日(火)　15:００－17:30

会場：日本大学理工学部駿河台キャンパス
タワースコラ 402

会費：講演会：会員無料、会員外 1,000円
懇親会：会員・会員外共　4,000円

第１部　総 会

14:30～　受付

15:00～　総会

第２部　講演会

司会：石井久史（SDC副会長：（株）LIXIL ）

15：30～15：35　開会の挨拶　宮崎淳（SDC会長：日本設計）

15：35～16：25　**『地域からの脱炭素化と自然エネルギー100%への展望』**

松原弘直 氏（特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所理事
主席研究員）

16：25～16：35　休　憩

16：35～17：25　**『大成建設の創エネへの取り組みとT-Green[R] Multi Solarのご紹介』**

小林信郷 氏（大成建設（株）クリーンエネルギー・環境事業推進
本部　理事　ZEB・スマートコミュニティ部長）
梅田和彦 氏（大成建設（株）技術センター都市基盤技術研究部
空間研究室　設備チーム　チームリーダー）

17：25～17：30　閉会の挨拶　大野二郎（SDC名誉会長：大野二郎環境建築研究所）

第３部　懇親会

18:00～20:00　懇親会

太陽エネルギーデザイン研究会

URL：http://www.solar-design.jp/

E-mail：info@solar-design.jp

講演概要・講演者プロフィール

講演① 『地域からの脱炭素化と自然エネルギー100%への展望』

概要；地球温暖化による異常気象が頻発し、エネルギー価格が高騰するなか、この二つの気候危機とエネルギー危機を避けるためにも地域から脱炭素化への取り組みを進めることが重要になっています。世界で2030年までに自然エネルギー設備3倍を目指すことが国際的に合意され、自然エネルギー100%への取り組みが国、企業、地域レベルで進み始めており、その展望について概説します。

松原弘直 氏（特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所　理事・主席研究員）

工学博士。CAN-Japan共同代表、グリーン連合共同代表、やちよ自然エネルギー市民協議会代表、自然エネルギーを広げるネットワークちば代表、千葉県地球温暖化防止活動推進員、環境プランナーERO。千葉県出身。東京工業大学においてエネルギー変換工学の研究で学位取得後、製鉄会社研究員、ITコンサルタントなどを経て、持続可能なエネルギー社会の実現に向けて取り組む研究者・コンサルタントとして現在に至る。

松原弘直
（まつばら　ひろなお）

講演② 『 大成建設の創エネへの取り組みとT-Green[R] Multi Solarのご紹介』

概要；大成建設㈱は2010年頃から創エネに関する研究開発を開始し、多くの業績を残してきた。2014年に大成建設技術センターのZEB実証棟が竣工し、外壁で発電する「有機薄膜太陽電池外壁ユニット」を実装して国内で初めてZEBを実現した。現在はカーボンニュートラル早期実現に向け、徹底した省エネと創エネの最大化の研究開発を推進している。本講演では、㈱カネカと共同開発した意匠性の高い外装一体型太陽電池モジュール「T-Green® Multi Solar」について適用事例を交えながら紹介します。

小林信郷氏（大成建設㈱クリーンエネルギー・環境事業推進本部　理事
ZEB・スマートコミュニティ部長）

略歴;　・1988年：大成建設株式会社入社
・1988～2016年：環境・エネルギーを最適化して快適な室内環境を提供する設備設計業務、省エネルギーや創エネルギーに寄与する技術開発業務
・2017～現在　：脱炭素化に向け課題解決に繋がるエネルギーソリューションを提供する業務、ギーや創 エネルギーに寄与する技術開発業務

業績;「T-Zone Saver」：次世代人検知センサを利用した照明・空調の超省エネ自動環境制御システム
・2010年 地球温暖化防止活動 環境大臣表彰
・2011年 第8回エコプロダクツ大賞　節電優秀賞
・2013年 第24回電気設備学会賞 開発賞
「T-Green Multi Solar」：外装一体型太陽電池モジュール
・2023年 気候変動アクション環境大臣表彰 気候変動アクション大賞（開発・製品化部門）
・2024年 脱炭素チャレンジカップ2024 環境大臣賞金賞(企業・自治体部門) 等

小林信郷
（こばやし　のぶさと）

梅田和彦氏　（大成建設㈱ 技術センター 都市基盤技術研究部 空間研究室
設備チーム チームリーダー）

略歴;・1992年：大成建設株式会社入社
・1992～1998年：室内温熱環境、住宅断熱、室内化学汚染低減等の研究を通じて、快適な室内環境を追究する業務に従事。
・1999～2015年：屋外暑熱緩和、住宅換気、太陽光熱利用等の技術開発を通じて、より良い建築環境を創造する業務に従事。水分気化熱の利用による屋外暑熱環境の緩和効果に関する研究で博士（工学）の学位取得。
・2016年～現在:太陽光発電の壁面融合の技術開発を通じて、建物の創エネ化を支援する業務に従事。現在はカーボンニュートラル実現に向けた建築設備の新たな技術開発に従事。

業績；「熱回収型太陽電池ルーバー」
・2011年 日本太陽エネルギー学会 学会賞（技術部門）優秀技術賞。
「T-Green Multi Solar」：外装一体型太陽電池モジュール
・2023年 気候変動アクション環境大臣表彰 気候変動アクション大賞（開発・製品化部門）
・2024年 脱炭素チャレンジカップ2024 環境大臣賞金賞(企業・自治体部門)
・2024年 日本建築学会賞（技術）　等

梅田和彦
（うめだ　かずひこ）

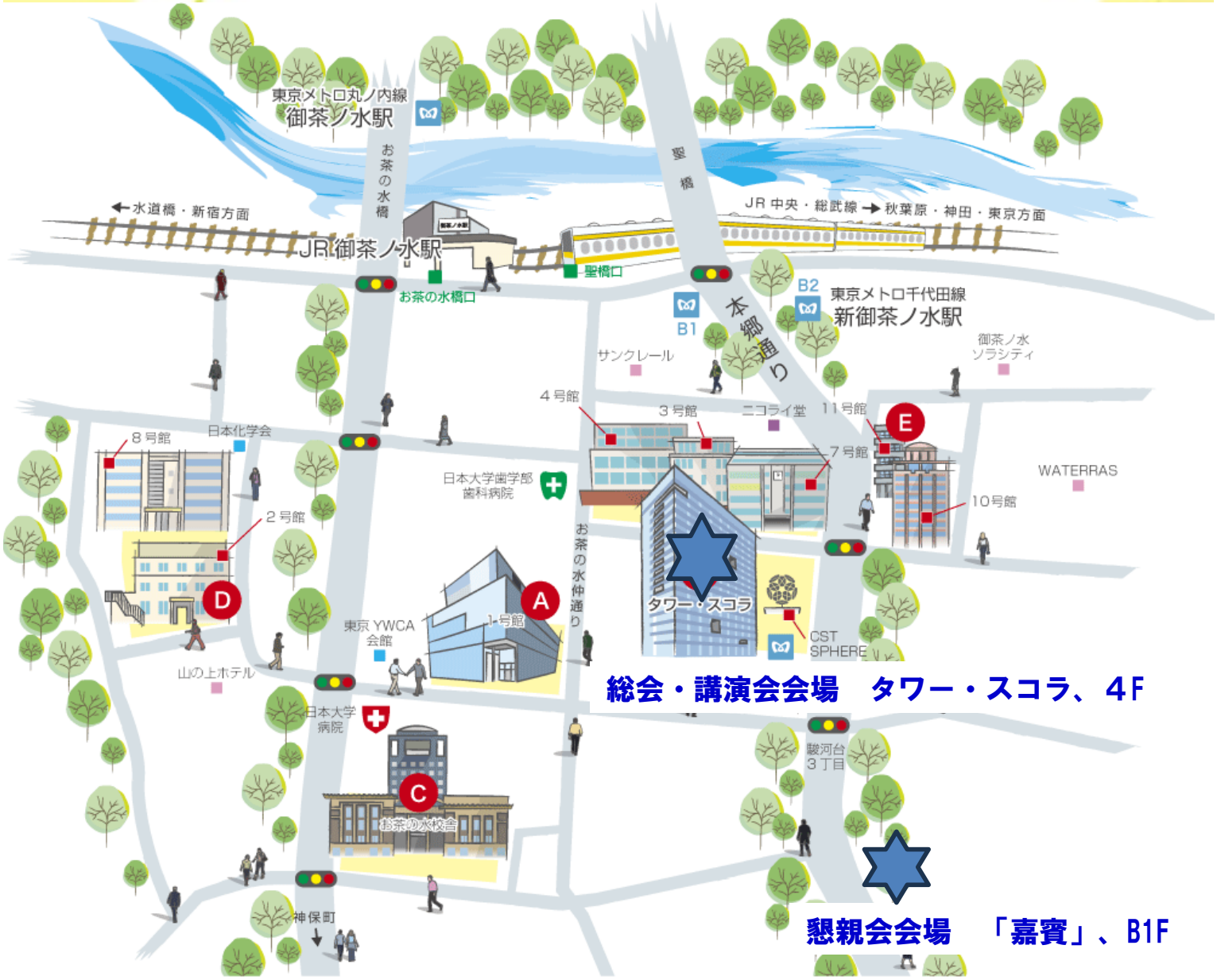
太陽エネルギーデザイン研究会　（第13期）
総会・講演会・懇親会

Solar Design Consortium

日時：2024年6月18日(火)　15:００－17:30

総会・懇親会：15:00～
会場：日本大学理工学部駿河台キャンパス　タワースコラ 402
千代田区神田駿河町1-8-14
（御茶ノ水駅徒歩３～５分、新御茶ノ水駅徒歩３分）

懇親会：18:00～20:00
会場：「嘉賓」18：00～20：00
千代田区神田淡路町3-2 B1
（JR御茶ノ水駅徒歩3分、千代田線新御茶ノ水駅徒歩１分）



A …入試事務室　カフェテリア　CST ホール　B …情報教育研究センター　購買部　カフェ　C …図書館
D …材料創造研究センター　E …研究支援センター

太陽エネルギーデザイン研究会

URL：http://www.solar-design.jp/　E-mail：info@solar-design.jp